

# 古典籍さまざま ～近世の出版物より～



左: "The History and adventures of the renowned Don Quixote" 挿絵 (部分)  
中央: 『播州膝栗毛』  
右: 『解體新書』扉絵

平成30年

【入場無料】

10月12日(金)～12月18日(火)

【会場】 神戸大学附属図書館 社会科学系図書館<2階 展示ホール>  
(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1)

【時間】 月～金/8:45～21:30  
土・日・祝/10:00～19:00 (ただし11/3は休館)

【交通】 阪神「御影」・JR「六甲道」・阪急「六甲」の各駅から  
市バス36系統「神大正門前」下車  
キャンパス内を北へ徒歩約5分

【お問合せ】 神戸大学附属図書館 情報リテラシー係  
TEL: 078-803-5313



# 古典籍さまざま ～近世の出版物より～



左右とも『増補民用晴雨便覧』挿絵(部分)

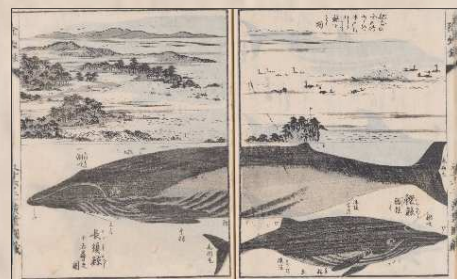
神戸大学は、教育・研究とならぶ第三の使命として、地域・社会との連携協力にも力を注いでいます。附属図書館においても、所蔵する貴重な資料を多くの皆様にご覧いただきたいと考え、平成16年度から資料展示活動をはじめ、本年度で15年目となりました。

江戸時代は、木版での大量印刷と商業流通の確立によって出版文化が花開き、知識・教養が世に広く伝わり、庶民が娯楽を享受した時代でもありました。今回は特に、科学・技術と文学・戯作の分野におけるその様子を、当時の刊本を中心とした附属図書館所蔵の資料により紹介します。あわせて和洋の対比もご覧いただきたく、同時代の西洋の図書も展示いたしますので、図書館の所蔵資料に気軽に触れる機会となれば幸いです。多数のご来場をお待ちしております。

## 展示概要

### 1. サイエンス事始

江戸時代、西洋文化は蘭学として日本に入ってきました。中でも8代将軍徳川吉宗は海外の知識や物産に高い関心を示し、享保5(1720)年に禁書令を緩和、これをきっかけに、自然科学分野の西洋書が翻訳され、出版されるようになりました。ここでは『解体新書』などの翻訳書を中心に、医学、天文学、農学など江戸時代の知識の広まりを資料から紹介します。



『除蝗録』

### 2. 庶民の教養と娯楽

この時代には、数多くの文芸作品が執筆・出版されました。それに伴い、庶民の間にも読書を愉しむ文化が広まりました。ここでは当時のベストセラーである『膝栗毛』シリーズなどの戯作類や、『小倉百人一首』の影響を受けて編纂された「異種百人一首」など、近世庶民の教養・娯楽に関する資料を展示します。あわせて、同時代に英国で出版され、広く庶民に受け入れられた小説等の文学作品についても紹介します。



『秀雅百人一首』



神戸大学は、国文学研究資料館による「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業に拠点大学として参加しています。その一環で古典籍の電子化を実施しており、成果物である画像を本資料展でもいくつか使用しています。



11月1日から7日は、「教育・文化週間」です。本資料展も関連行事に登録されています。